

筑波大学比較・理論文学会活動報告

平成 11 年度比較・理論文学会大会

2000 年 3 月 27 日(月) 筑波大学人文・社会学系棟 A501

研究発表

- ・「転倒する他者（自己）規定 ——Caesar's Column に見る骨相学のアポリア——」
福井崇史 氏（筑波大学大学院文芸・言語研究科文学専攻 3 年次）
- ・「李香蘭～大陸から来た旅行者～」
鷺谷 花 氏（筑波大学大学院文芸・言語研究科文学専攻 3 年次）
- ・「ポール・ボウルズの永遠なる翻訳」
外山健二 氏（筑波大学大学院文芸・言語研究科文学専攻 2 年次）
- ・「<絵本>という制度」
信岡朝子 氏（東京大学大学院総合文化研究科
超域文化科学専攻（比較）修士課程 1 年次）

平成 12 年度文学専攻中間論文構想発表会

2000 年 7 月 3 日(月) 筑波大学人文・社会学系棟 A501

- ・金 秀珍「宮沢賢治の童話「ペンネンネンネンネン・ネネムの伝記」を読む
——身体イメージを中心に(仮)」
- ・坂井竜太郎「言語と現実
——James Joyce の Dubliners, A Portrait of the Artist as a Young Man」
- ・藤沢祥子「ラップを読む——アメリカにおけるラップ・ミュージックの現在」
- ・金 貞愛「李恢成の初期作品研究」

平成 12 年度文学専攻修士論文中間発表会

2000 年 10 月 23 日(月) 筑波大学人文・社会学系棟 A501

- ・藤沢祥子「レトリックによる囲いこみ：現在のアメリカにおける「ブラックミュージック」の場合」
- ・坂井竜太郎「言語と現実——James Joyce の Dubliners, A Portrait of the Artist as a Young Man」
- ・金 秀珍「宮沢賢治の童話「ペンネンネンネンネン・ネネムの伝記」を読む——
身体イメージを中心に」
- ・金 貞愛「李恢成の初期作品研究」

平成 12 年度比較・理論文学会 12 月例会

2000 年 12 月 15 日(金) 筑波大学人文・社会学系棟 A501

研究発表

- ・「踊る大東亜共栄圏——日劇〈郷土〉レビューの展開——」
鷺谷 花 氏 (文芸・言語研究科文学専攻 4 年次)
- ・「田村俊子と『女聲』(1942～1945)」
呉 佩珍 氏 (文芸・言語研究科文学専攻 4 年次)

平成 12 年度課程博士公開発表会

2000 年 12 月 18 日(月) 筑波大学人文・社会学系棟 A501

- ・清水知子 「〈記憶〉と〈表象〉の政治学——1980 年代英国の文化と文学——」
- ・呉 俊永 「漱石文学に見る近代知識人の軌跡」
- ・日比嘉高 「〈自己表象〉誕生の文化史的研究」
- ・鄭 炳浩 「坪内逍遙の文芸論とその周辺」
- ・中根隆行 「〈朝鮮〉をめぐる表象の文化史——日本近代における知の植民地化と文学——」

平成 12 年度文学専攻中間論文公開発表会

2001 年 1 月 24 日(水) 筑波大学人文・社会学系棟 A501

- ・金 秀珍 「宮沢賢治童話考——「ペンネンネンネンネン・ネネムの伝記」を中心に——」
- ・金 貞愛 「李恢成の初期作品研究——『その前夜』と『死者の遺したもの』を中心に——」
- ・藤沢祥子 「レトリックによる囲い込み——1970 年代以降のアメリカの〈ブラック・ミュージック〉における〈越境〉の問題——」
- ・坂井竜太郎 「古典的リアリズムを超えて——James Joyce の Dubliners と A Portrait of the Artist as a Young Man をめぐって——」